



アドビ株式会社
141-0032 品川区大崎 1-11-2
ゲートシティ大崎イーストタワー

アドビ、Adobe Photoshop、Adobe Premiere をはじめとする Adobe Firefly および Adobe Creative Cloud アプリ全体でクリエイティブエージェントを大幅に拡充

- Adobe Firefly はクリエイティブ AI Studio として進化し、エージェント機能を拡充。アイデア出しから制作、仕上げ・展開まで、クリエイティブワーク全体を繋ぐ統合体験を提供
- Adobe Premiere、Adobe Photoshop、Adobe Illustrator、Adobe InDesign、Adobe Frame.io にクリエイティブエージェントを展開。クリエイターは望む成果物を伝えるだけで、AI アシスタントが複数ステップにわたるワークフローを実行
- アドビのクリエイティブツールを ChatGPT、Claude、Copilot、Gemini、Slack などの主要な AI プラットフォームにも展開し、世界中のあらゆる場所で働く数億人のユーザーに提供

※当資料は、2026 年 6 月 18 日（米国時間）に米国本社から発表された[プレスリリース](#)の抄訳版です。

【2026 年 6 月 18 日】

アドビ（Nasdaq: ADBE）（本社：米国カリフォルニア州サンノゼ、以下アドビ）は本日、[Adobe Firefly](#) および [Adobe Creative Cloud](#) 全体にわたるクリエイティブエージェントの大幅な拡充を発表しました。オールインワンのクリエイティブ AI Studio である Adobe Firefly は、新しいクリエイティブスキルやツールによりエージェント機能を拡張し、アイデア出しから制作、仕上げ・展開に至るクリエイティブワークのあらゆる段階をつなぐ統合エクスペリエンスをプレビューします。またアドビは、[Adobe Photoshop](#)、[Adobe Premiere](#)、[Adobe Illustrator](#) を始めとする Adobe Creative Cloud アプリにもクリエイティブエージェント導入します。これにより、クリエイターは望む成果

物を説明するだけで、AI アシスタントが複数ステップにおよぶワークフローを実行できるようになります。これらの進化により、アドビのクリエイティブエージェントはクリエイティブ作業のあらゆる段階をつなぐ基盤として働きます。クリエイターは作品を独自のものにするための創造性や、センス、判断力に集中できるようになります。

アドビのクリエイティブエージェントは、クリエイターが制作の主導権を持ち続けられるよう設計されています。複雑で反復的な作業の調整や実行はエージェントが担い、クリエイティブビジョンは最初から最後までクリエイター自身のものです。これは、クリエイティブワークの制作プロセスに関するアドビの40年にわたる知見に基づいて構築されたもので、個人のクリエイターから企業のクリエイティブチームやマーケティングチームに至るまで、あらゆる規模のクリエイターに対応できるよう拡張可能です。さらに、アドビのプロフェッショナル向けクリエイティブツールは、ChatGPT、Claude、Copilot、Gemini、Slackといったプラットフォームへと拡大され、創作や仕事を行う場所を問わず、数億人規模のユーザーに届けられます。

アドビのクリエイティビティ&プロダクティビティ事業部門代表であるデイビッド ワドワーニ (David Wadhvani) は、次のように述べています。「アドビはこれまでも、優れたクリエイティブ制作の中心にあり続けてきました。そして今回の発表はその約束を大きく拡大するものです。今やすべてのクリエイターは、自分が使うあらゆるアプリやプラットフォームを横断して作業を支援してくれるエージェントを持つことになります。クリエイターはビジョンを示し、自身のセンスを活かし、自分にしかできない判断を下すことに集中できます。」

Adobe Firefly、エージェント機能を拡張し、クリエイティブ AI の統合的制作エクスペリエンスをさらに進化させる

先日パブリックベータ版としてリリースされて以来、[Adobe Firefly AI アシスタント](#)は、アイデアをより迅速かつ直感的に形にするツールとして多くのクリエイターに支持されてきました。今回の拡張では、SNS 上でブランドを構築するクリエイターや個人事業者向けに設計された新しいクリエイティブスキルとツールを追加するとともに、クリエイターごとの好みに合わせてカスタマイズできる機能強化を実施しました。アドビのクリエイティブエージェントを搭載した Adobe Firefly AI アシ

スタントは、Adobe Creative Cloud アプリケーション全体のプロ向けのツールを Adobe Firefly の単一の対話型インターフェイスに統合します。これにより、クリエイターが望む成果を言葉で説明するだけで、AI アシスタントがバックグラウンドで多段階のワークフローを実行します。

新しいクリエイティブスキルとツールには以下が含まれます。

- **ブランドキットの作成**：スタイル、ブランド名、カラーパレットを説明するだけで、[Adobe Firefly の AI アシスタント](#)がロゴ、ブランドアイデンティティ、カラーパレットを生成・保存し、それらを制作物すべてにすぐに適用できるようになります。
- **商品のショート動画の作成**：商品写真を、高品質な照明、モーション、音声、ブランド表現を備えた、そのまま投稿できる洗練されたシネマティックなショート動画に変換します。
- **クイックカットを作成**：動画素材を自動的に組み合わせ、会話、ナレーション、またはビジュアルコンテンツに合わせて編集された、洗練されたファーストカットを作成します。
- **作成したストーリーボードから動画を生成**：アイデアを視化・構成するための[ストーリーボード](#)に変換し、そこから[動画を生成](#)できます。

Adobe Firefly の AI アシスタントは、クリエイターの意図をより深く理解し、クリエイター自身の言葉で説明したアセットを表示し、時間の経過とともにクリエイターの好みを学習する、新たなカスタマイズ機能のアップグレードも提供します。また、作品の公開前に Adobe Firefly の AI アシスタント内で直接、共同作業者を招待してレビューやフィードバックを求めることも可能になりました。

Firefly クリエイティブ AI Studio：アイデアから完成コンテンツまで、シームレスなワークフローで実現

Adobe Firefly は、すべてのクリエイターに、アイデアから高品質なコンテンツへと移行するためのスピード、コントロール、そしてクリエイティブな自由を提供します。本日、アドビは、生成と編集を一つの場所につなぐ、刷新された Adobe Firefly クリエイティブ AI Studio をプレビューします。これにより、クリエイターはワークフローを中断することなく、プロジェクトの構想から仕上げ・展開までシームレスに移行できます。

現在プライベートベータ版として提供されているアップグレードした Adobe Firefly クリエイティブ AI Studio は、クリエイターに一貫したコンテキスト、再利用可能なアセット、整理されたワークフローを提供するように設計されています。これにより、制作のすべての段階において、あらゆるバリエーションや異なるフォーマットを通じて、一貫性、スタイル、クリエイティブなビジョンを維持できます。

- **エレメント**：すでに作成したキャラクター、場所、オブジェクトを保存し、すべての AI 生成セッションで再利用できます。これにより、ストーリー、キャンペーン、プロジェクトが Adobe Firefly 内で大規模なものになっても、一貫性を維持するのに役立ちます。
- **プロジェクト**：Adobe Firefly と Adobe Creative Cloud 全体で、アセット、AI 生成、クリエイティブなコンテキストを整理して管理できます。これにより、中断した箇所から再開したり、過去の作業をベースに制作を進めたりすることが容易になります。

クリエイティブエージェントを Adobe Creative Cloud アプリ全体に導入

アドビは、独自のクリエイティブエージェントを搭載した AI アシスタント機能のパブリックベータ版を、業界をリードする Adobe Creative Cloud アプリに導入します。まずは Adobe Premiere、Adobe Photoshop、Adobe Illustrator、Adobe InDesign、Adobe Frame.io において提供を開始します。各アプリケーションの AI アシスタントはクリエイティブエージェントによって駆動され、クリエイティブプロフェッショナルが自身の創作活動に集中できるよう、多段階のワークフローを実行します。クリエイターは、アシスタントに任せる作業と自身で担当する作業を選択しながら、自身のセンス、専門知識、判断力を活かして、あらゆる編集可能な成果物を形作ることができます。各 Adobe Creative Cloud アプリ内の AI アシスタントは、以下の機能を実現するスペシャリストとして動作します。

- **Adobe Premiere**：面倒な設定作業はすべて AI アシスタントが代行します。アセットの分類、クリップの一括リネーム、インタビュー質問の特定、マーカーの追加、さらには作業開始ポイントの作成まで、プロジェクトパネルやタイムラインで行える作業であれば、AI アシスタントがサポートします。
- **Adobe Photoshop**：背景の置換、あらゆるプラットフォーム向けのアセットのサイズ変更、レ

イヤーの整理など、希望する成果を説明するだけで、アシスタントが合成画像（コンポジット）全体に対して処理を実行し、ユーザーによるインテリジェントな編集が可能な状態でオーケストレーションを適用します。

- **Adobe Illustrator** : AI アシスタントに、スプレッドシートから 50 種類のバージョン管理されたファイルを生成したり、ドキュメント全体のレイヤーを再編成したり、印刷前にカラーモードのエラーや欠落フォントを検出するプリフライトチェックを実行したりするなど、多段階の制作作業のサポートを依頼できます。
- **Adobe InDesign** : ブランドガイドラインの PDF を読み込んだり、既存のテンプレートを開いたりして、アシスタントにコピー、スタイル、印刷適性チェックを含むすべてのレイアウトへの更新を適用させます。
- **Adobe Frame.io** : クリエイティブディレクションを提示すれば、AI アシスタントがプロジェクト内で撮影アセットの整理、リビジョンごとのフィードバックの抽出、B ロールの生成を支援します。

AI アシスタントは After Effects でプライベートベータ版として利用可能です。アドビは、写真、ビデオ、モーションデザインのワークフローをさらに拡大させるために、エージェント機能を他の Adobe Creative Cloud アプリにもさらに拡張できるよう取り組んでいます。

業界をリードするアドビのクリエイティブツールをあらゆる場所に展開

今回の発表は、ユーザーが日常的に利用するプラットフォームへ、アドビのプロ仕様のクリエイティブツールを提供するという戦略に基づいています。これにより、インスピレーションが湧いたその場で、誰もが優れたコンテンツを簡単に作成できるようになります。アドビのツールはアドビアプリだけではなく、OpenAI の ChatGPT、Anthropic の Claude、Microsoft 365 Copilot など、世界中で何億人ものユーザーに利用されているサードパーティ製プラットフォームからも利用可能です。また、アドビは最近、コネクタを Google Gemini および Slack に導入する計画を発表しており、AI エコシステム全体におけるクリエイティブツールの普及をさらに拡大しています。

価格と提供開始時期

Adobe Firefly AI Assistant（ベータ）の最新機能は、本日より Adobe Firefly web アプリで利用可能です。刷新された Adobe Firefly クリエイティブ AI スタジオエクスペリエンスは、結合された生成・編集スペースに加え、エレメントおよびプロジェクト機能を含み、現在[ウェイトリスト](#)を通してプライベートベータ版として利用可能です。

AI アシスタントは本日より Adobe Premiere、Adobe Photoshop、Adobe Illustrator、Adobe Frame.io、Adobe InDesign でパブリックベータ版として利用可能です。Adobe After Effects ではプライベートベータ版として利用可能です。

■「アドビ」について

アドビは創造性、生産性、そしてパーソナライズされた顧客体験を実現する革新的なプラットフォームとツールを提供し、-Empowering everyone to create- すべての人が創造力を発揮できるよう支援してまいります。

アドビに関する詳細な情報は、web サイト (<https://www.adobe.com/jp/about-adobe.html>) をご覧ください。

© 2026 Adobe. All rights reserved. Adobe and the Adobe logo are either registered trademarks or trademarks of Adobe in the United States and/or other countries. All other trademarks are the property of their respective owners.